

データ入力

データ入力ページは、コマンドの入力項目をまとめたページです。

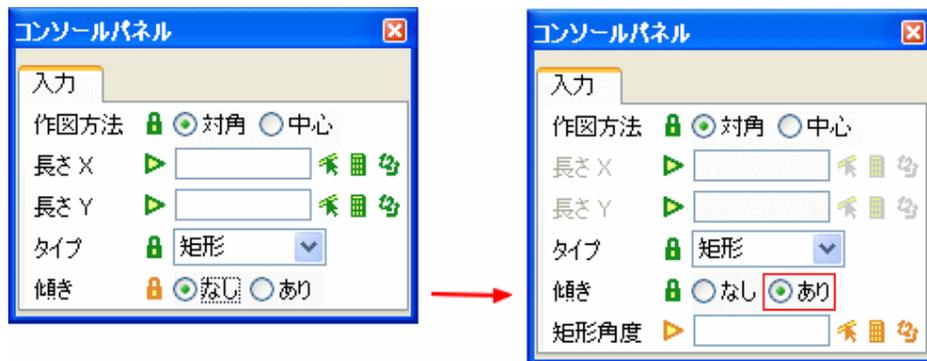
現在の入力行は、オレンジ色、入力できない入力行は、灰色で表示されます。

ステータスボタンは、左クリックで確定・ロック、右クリックでロックに変更できます。

また、キーボードの[Enter]キーで確定、[Shift + Enter] キーでもロックできます。

入力値を削除すると、ステータスは未入力となります。

入力項目数は、コマンドモードにより、異なる場合があります。



上図は、矩形コマンドの時のコンソールパネルです。

矩形コマンドでは、最下行の「矩形角度」は、傾き：ありの時のみ、表示されます。

ボタン名称	説明		
ステータスボタン		未入力	まだ入力されていません。
		確定	入力欄の値は、確定されています。
		ロック	入力欄の値は、ロックされています。
計測ボタン			このボタンを押すと、計測を行うことができます。
マウス入力ボタン			このボタンを押すと、テンキーボックスが開きます。
メモリボタン			このボタンを押すと、計測値・変数・定数を参照できます。
コメント入力ボタン			このボタンを押すと、コメント入力ダイアログが開きます。
文字列参照ボタン			このボタンを押すと、文字列を参照できます。

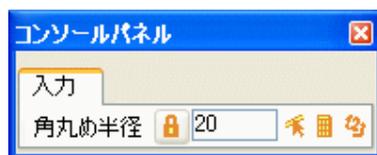
データ入力で演算する

単に数値を入力するだけでなく、演算式を入力し演算させることも可能です。
四則演算・三角関数・算術関数・変数の使用が可能です。

項目	関数	説明
四則演算	+, -, *, /	加算、減算、乗算、除算
三角関数	SIN	サイン
	COS	コサイン
	TAN	タンジェント
	ASIN	アークサイン
	ACOS	アークコサイン
	ATAN	アークタンジェント
	ATAN2	成分によるアークタンジェント
算術関数	ABS	絶対値
	SQRT	平方根
	HYPOT	ベクトルの大きさ
	PAI	円周率

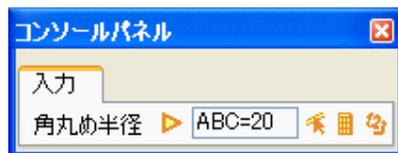
同じ値を使用する

入力値をロックすることにより同じ値を使用して、コマンドを実行させることができます。
ロックしたい値の入力欄で、ステータスボタンをクリックし、 [ロック]にしてください。
また、入力欄で、キーボードの[Shift + Enter]を押してもロックになります。
下記の例は、角丸めのコマンドのコンソールパネルですが、半径の入力値をロックすることにより、
同じ径のコーナーRをすばやく作図することができます。



変数を利用する

何度も同じ値を入力する場合、変数に値を記憶させることができます。
変数値を記憶させるには、入力欄で『変数名=値』と入力し、「確定」してください。

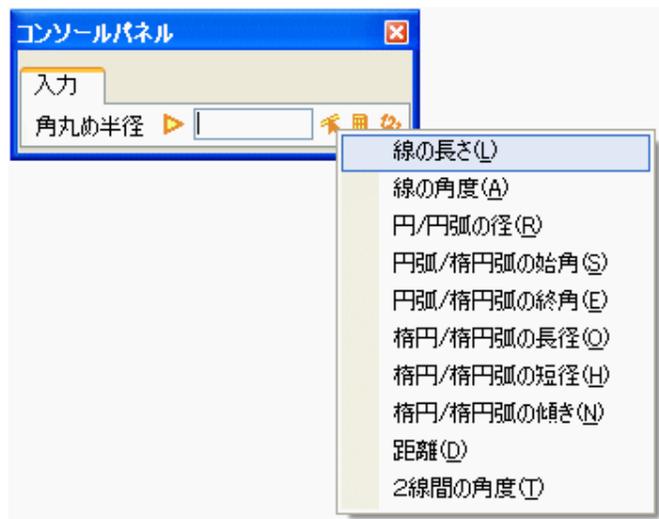


記憶させた変数値を入力したい場合は、 メモリボタンより該当する変数名を選択してください。
また、[設定]-[ユーザプロパティ設定]の変数タブで登録・編集できます。

計測値を利用する

要素を測定した値を入力値として利用できます。

計測値を入力したい値の入力欄の計測ボタンを  クリックして、メニューの中から計測コマンドを選択してください。



- 線の長さ
- 線の角度
- 円/円弧の径
- 円弧/楕円弧の始角
- 円弧/楕円弧の終角
- 楕円/楕円弧の長径
- 楕円/楕円弧の短径
- 楕円/楕円弧の傾き
- 距離
- 2線間の角度

マウス入力を利用する

マウス入力したい入力欄の  ボタンを押すと、テンキーボックスが開き、簡単な数値入力をマウスで行えます。



・ 数値キー

ボタン	機能
0 ~ 9	数値を入力します
.	小数点を入力します
-	マイナス記号を入力します

・ カーソル移動キー

ボタン	機能
←	カーレットの前方の文字を一文字削除します。バックスペースキーと同じ動作です。
←	カーレットの後方の文字を一文字削除します。デリートキーと同じ動作です。
←	カーレットを一文字分左に移動します。
→	カーレットを一文字分右に移動します。
⇧←	現在のカーレット (文字列選択時は先頭の文字位置) の右側の文字を一文字分選択状態にします。カーレットが文字列の最後にある状態で、このボタンを押すと0を追加して選択状態にします。
⇧→	現在のカーレットの左側の文字 (文字列選択時は最後の文字) を一文字分選択状態にします。カーレットが文字列の最後にある状態で、このボタンを押すと0を追加して選択状態にします。
⇐	カーレットを文字列の先頭に移動します。
⇒	カーレットを文字列の最後尾に移動します。

・ 機能キー

ボタン	機能
✕	テンキーボックスを閉じます
↶	UNDO を実行します。
A	テキストボックスの全ての文字を選択状態にします。
↵	テンキーボックスを閉じ、入力を確定させます。

変数値を利用する

メモリボタンで計測した値や、変数値、定数値、特殊文字を入力値に使用することが出来ます。

入力したい値の入力欄で、メモリボタンを押して、メモリリストから該当の変数値を選択してください。

[+]をクリックすると、変数項目が展開されます。

メモリリスト	
計測値	
距離(MD)	183.4618670071
距離-X(MX)	141.1316397229
距離-Y(MY)	117.2182448037
角度(MA)	329.551254196
面積(MS)	5649.955297742
周長(ML)	123.247617144
図心	
X(ZX)	0
Y(ZY)	0
点	
線分	
円弧	
変数	
ABC	20
特殊文字	
[]	[]内の文字を縮小文字にします。
	内の数値を寸法値として表示します。
_	_の箇所で文字列を改行します。
@	@の箇所でφ記号を表示します。
^	^の箇所で±記号を表示します。
値を 183.4618670071 に置き換えます	

変数項目名をダブルクリックすると、その変数の名前が入力欄に入力されます。

値をダブルクリックすると、その変数の値が入力欄に入力されます。

変数・定数が登録されている場合は、変数・定数が表示されます。

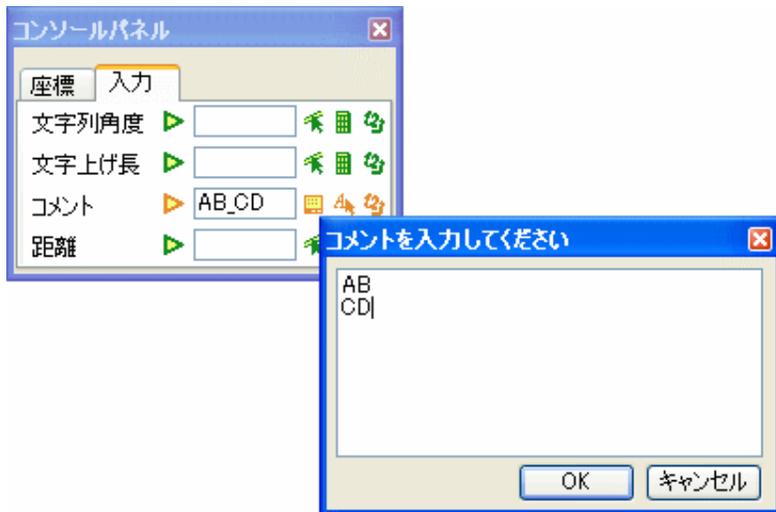
変数は、[設定]-[ユーザプロパティ設定]の変数タブで編集できます。

定数は、図面を閉じて、[ファイル]-[システムローカル設定]の定数タブで編集できます。

コメント入力ダイアログを利用する

コメント入力欄において、 コメント入力ボタンを押すと、コメント入力ダイアログを利用できます。コメント入力ダイアログは、右方向、または、下方向にウィンドウサイズを変更できます。

下図は、文字記入コマンドの時の、コメント入力ダイアログです。



コメント入力ダイアログでは、改行は自動的に改行文字”`\n`”に置き換えられます。
[Ctrl + Enter]、または、[OK]ボタンを押すと、「確定」されます。
また、[Shift + Enter]でロックになります。

文字列を参照する

コメント入力欄において、 文字列参照ボタンを押すと、図面上の文字列を入力できます。